

# 文学 × サイエンス

科学や数学など「サイエンス」の力を使いながら展開していく文学作品や、  
現役の医師や理系学部卒業者など「理系」の著者による本など、  
「サイエンス」に関連した本たちを集めました。  
理系科目が好きな方はもちろん、苦手意識がある方も、ぜひ読んでみませんか？  
意外と興味が湧いてくるかもしれません…♪

## 「化学の授業をはじめます。」

ボニー・ガルマス/著 文藝春秋 (933 ガル)

時は1960年代アメリカ、  
才能ある化学者ながら無職のシングルマザー  
になってしまったエリザベス。ひよんなこと  
から得た仕事は、料理番組の指南役…!?  
エリザベスの科学的な説明に、  
視聴者は心をつかまれる！

## 「ブルーネス」

伊予原 新/著 文藝春秋 (913.6 イヨ)

3.11後に地震研を辞めた準平は、  
津波予知のプロジェクトに誘われる。  
神戸大学理学部卒の著者が、自らの使命を  
見つめ直す科学者たちの新たな挑戦を描く。

## 「猫色ケミストリー」

喜多 喜久/著 宝島社 (913.6 キタ)

計算科学を専攻する大学院生・明斗は、落雷  
により、野良猫と同級生のスバルらとともに  
意識を失う。気が付くと、それぞれの魂が入  
れ替わっていて…。  
“有機化学ミステリー”、読んでみませんか？

## 「和菓子迷宮をぐるぐると」

太田 忠司/著 ポプラ社 (913.6 オオ)

理系大学生・涼太は、和菓子の「美しさ」に  
惹かれ、進路を大学院進学から製菓専門学校  
入学へと一転させる。しかし、正解のない和  
菓子の世界はまさに「迷宮」で…。  
そんな世界に超理系脳の涼太は  
「和菓子×科学」で挑む。

## 「クララとお日さま」

カズオ・イシグロ/著 早川書房 (933 イシ)

AIやロボットなど、最先端の科学をテーマに  
したお話です。AIを搭載したロボットのクラ  
ラは、病弱な少女と友情を育みます。  
AIは、「人」の代わりに  
なれるのでしょうか？

## 「存在しない時間の中で」

山田 宗樹/著 角川春樹事務所 (913.6 ヤマ)

世界各国の研究者たちが集まる天文数物研究  
機構に、ある日謎の青年が現れ、ホワイトボ  
ード23枚に及ぶ数式を書き残して姿を消す。  
その数式は、この宇宙、そして世界の設計図  
を描いた〈何者か〉が存在する可能性を  
示唆していたー。